



カワバタモロコ



コバノミツバツツジ



コウノトリ

加古川市環境基本計画

生物多様性かこがわ戦略（別冊） ＜改訂版＞



シルビアシジミ



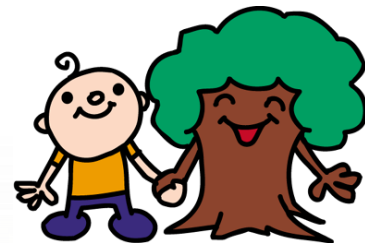
フジバカマ



オニヤンマ

令和7年10月
加古川市

生物多様性って何だろう？



私たちが暮らす加古川市には、様々な生きものが互いに関わり合いながら生息しています。この生きものたちと、それらのつながりのことを「生物多様性」といいます。

生物多様性には、生態系・種・遺伝子という3つのレベルの多様性があり、それらは、私たちに多くの恵み（4つの生態系サービス）をもたらしています。

しかし、これまでの人間の活動などによって、絶滅、環境の荒廃、生態系への被害、地球環境の変化など、生物多様性には4つの危機が生じており、今もその危機は増えています。

● 3つのレベルの多様性 ●

生態系の多様性

河川、ため池、里山など、生きものたちのいる様々な環境



加古川



権現湖



浜の宮公園

種の多様性

動物、虫、魚、植物など様々な生きものたちの種類



カワセミ



クロアゲハ



ツツジ

遺伝子の多様性

チョウの羽の柄やアサリの貝殻の模様などの遺伝子の違い



チョウの羽の模様

● 4つの生態系サービス ●

供給サービス

食べもの、飲み水、薬の原料など、人間の生活に重要な資源を供給

調整サービス

気候の調節、水の浄化、土砂災害を防ぐなど、環境を調整

文化的サービス

心のやすらぎ、美しい景色、レクリエーションの機会を提供

基盤サービス

栄養塩や水の循環、酸素、土壌の形成など、他のサービスを支える基盤

● 4つの危機 ●

第1の危機

開発や乱獲など人間活動による生態系の破壊・種の減少・絶滅

第2の危機

里地里山の手入れ不足など、人間の働きかけの縮小による荒廃

第3の危機

外来種や化学物質などによる生態系への被害

第4の危機

地球温暖化による危機、多くの種の絶滅、生態系の破壊

4つの自然エリア

加古川市では、山林、ため池、農地、川、海など、多様な自然環境の中にたくさんの貴重な生きものたちが生息しています。この戦略では、それらのエリアを地域の特性に応じて4つに分類しています。



里山の自然エリア

市の北部を中心とする、播磨中部丘陵をはじめ、谷川や谷池等と、その周囲の山々から成り立つ、緑あふれるエリア



ため池と水田の自然エリア

市の中央から東西に広がる、寺田池などをはじめとする多くのため池や水田等と、それらを結ぶ新井用水などの農業用水路から成り立つ、うるおいのあるエリア



川と海の自然エリア

市の中心部を流れる加古川とその支流、加古川河口域の干潟、播磨灘や別府港など、多様な生命が育まれている水辺のエリア



まちの自然エリア

市の中部から南部にかけて、住宅地、公園や神社などに点在する緑地など、生活の営みの中にある自然のエリア

加古川の自然エリアを 見てみよう！



里山の自然エリア

代表的な例

- ・行常の森
- ・権現湖
- ・七つ池周辺など



ため池と水田の自然エリア

代表的な例

- ・寺田池
- ・雑郷の棚田
- ・志方町皿池など



○内は播磨中部丘陵県立自然公園
※保護地域



川と海の自然エリア

代表的な例

- ・加古川河口の干潟
- ・別府港
- ・曇川など



まちの自然エリア

代表的な例

- ・日岡山公園
- ・浜の宮公園
- ・鶴林寺公園など





里山の自然エリア

生きものたちの一例



ギフチョウ



ササユリの花

エリア内の活動例



ギフチョウ及びヒメヒカゲの成育する里山を保全するため、環境整備を進めています



地元や事業者などの活動団体と協力し様々な里山活動を実施していきます



ため池と水田の自然エリア

生きものたちの一例



ニホンイシガメ



ハス

エリア内の活動例



有害鳥獣等を捕獲し、農作物被害の防止を行っています



かいぼり等により、ため池を適正に管理していきます



川と海の自然エリア

生きものたちの一例



ハクセンシオマネキ



オイカワ

エリア内の活動例



加古川河口部で海浜植物の保全を行っています



加古川河川敷や河口等で加古川在来種の保全・再生を行っています



まちの自然エリア

生きものたちの一例



クマゼミ

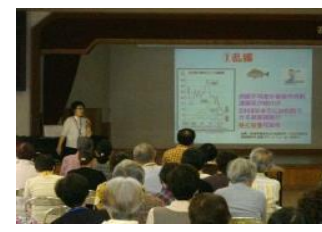


クロマツ

エリア内の活動例



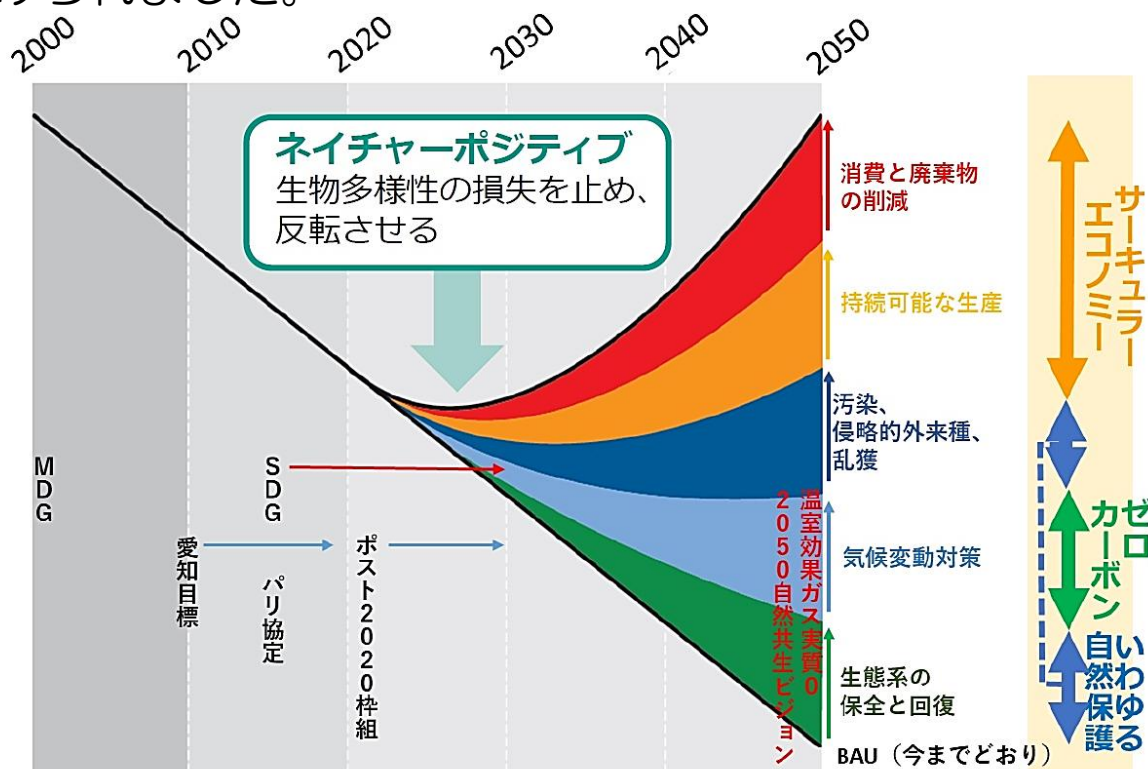
様々な立場の人に自然や生きものの関わりについて知る機会を提供していきます



自然や生きものからの恵みを知ってもらいます

ネイチャーポジティブ（自然再興）

自然を回復軌道に乗せるために、生物多様性の損失を止め、反転させること。令和5年3月31日に閣議決定された「生物多様性国家戦略2023－2030」において、2030年までに「ネイチャーポジティブ（自然再興）」を実現するという目標が掲げられました。



生物多様性の損失を減らし、回復させる行動の内訳
地球規模生物多様性概況第5版GBO5（生物多様性条約事務局2020年9月）

生物多様性かこがわ戦略の施策体系



生物多様性を保全するために、国・県・市民活動団体・事業者・学識経験者と連携し、①伝える、②守り育む、③活用するの循環した取組を、質を向上させながら継続的に進めていきます。

自然や生きものを伝える

私たちは、自然や生きものからもたらされる恵みや、失うことにより生じるリスク、かけがえのない自然や生きものの存在、それらの絶滅危機など、生物多様性の大切さについて伝えます。

関連するSDGs…



親しむ機会を提供する 	自然観察会を実施する
	自然保護の指導者を育成する
恵みを伝える 	自然や生きものからの恵みを伝え、理解する
	自然や生きものからの恵みを知ってもらう
リスクを伝える 	生物多様性の現状を知る
	自然や生きものに及ぼす負の影響（リスク）を知る
	生物多様性を失うことにより生じるリスク（防災・文化の喪失など）を知る
	生物多様性の変化をモニタリングし、市民・市民活動団体・事業者・行政と情報交換する場をつくる
守るべきものを伝える 	自然や生きものの写真等を展示する
	貴重種や貴重種と密接な関わりのある生きもの等を知る
	貴重種や貴重種と密接な関わりのある生きもの等の保全策について検討する
	生物多様性を保全する上での重要なエリアを把握する
	FSC、MSC等の生物多様性認証について伝え、普及する
	生物多様性を保全するための情報を提供する



かんきょう出前講座
授業の一環で小学生に伝える様子



環境セミナー
保育園等の先生への自然環境教育

自然や生きものを守り育む

私たちは、自然や生きものの存在を改めて見直し、それらを守り育みその貴重な財産を次の世代へと引き継いでいきます。

関連するSDGs…



里山の自然や生きものを守り育む 	貴重種のチョウ類が生息する里山を保全するため、下草刈や枝打ち等の環境整備を進める 松枯れ対策のため、薬液の樹幹注入を行う 地元や事業者等の活動団体と協力して様々な里山活動を実施する 自然環境の保全等を支援するため、「田園まちづくり制度」に基づき、保全区域、森林区域等を指定する	生物多様性国家戦略に掲げる「30by30」の達成に向け、健全な生態系を回復し、豊かな自然を取り戻す
ため池と水田の自然や生きものを守り育む 	侵略的外来生物を防除する（魚類など） 良好な田園環境を保全するため、遊休農地を市民農園として活用する 農地・農業用水等の施設の保全・管理を行う 化学肥料から有機肥料への転換、農薬の使用量を低減した「環境保全型農業」を推進する 農作物被害を防止するため、有害鳥獣等を捕獲する ため池改修工事で在来種や希少植物の生育環境に配慮した施工を進める ため池を適正に維持・管理するため、かいぼり等を実施する 県と連携し、「いなみ野ため池ミュージアム」に積極的に参加する 自然環境の保全等を支援するため、「田園まちづくり制度」に基づき、保全区域、農業区域等を指定する	
川と海の自然や生きものを守り育む 	30m水路にハマボウを主に植え、野生生物が生息できる環境の創出に取り組む 竹材や間伐材等を活用した河川の水質浄化に取り組む 加古川河川敷や河口で海浜植物や在来種の再生・保全を行う 加古川河川敷で加古川在来種の植栽を行う 海の生きものを育むため、海底耕うんを実施する 海の栄養塩の供給に取り組むため、ため池のかいぼりを実施する 海産物資源の充実を図るため、稚魚の放流やタコつぼの投入を行う	
まちの自然や生きものを守り育む 	松枯れ対策のため、薬液の樹幹注入を行う 緑化推進を図るため、「加古川市緑の基本計画」に基づく取組の進捗を把握する 緑化相談を実施する 在来種の種苗を用いるなど地域特性に応じた樹木等を植栽し、適正に維持管理する	

自然や生きものの恵みを活用する

私たちは、生物多様性から享受される生態系サービスに感謝し、将来にわたって活用していきます。

関連するSDGs…



食の恵みを 活用する 	加古川産の農畜水産物を始めとした地産地消を推進する 見土呂フルーツパークでの農畜水産物の収穫体験等を通して、農村環境の生物多様性を実感する
緑の恵みを 活用する 	「加古川ふるさと自然のみち」を活用する 花やみどりなど、加古川の自然や生きものにふれあえる機会をつくる 少年自然の家や野外活動センター等の周辺一帯の資源を活用した自然体験の場をつくる
水辺の恵みを 活用する 	親水空間を活用した、水辺の自然や生きものにふれあえるイベントを実施する これまで築いてきた親水空間を保全し、活用する



かわまちづくり
加古川河川敷で緑と風を体感



花とみどりのフェスティバル
樹木と遊ぶ自然体験



在来植物の植樹体験



森を活用した市民イベント

30by30 目標

健全な生態系を回復し、豊かな自然の恵みを取り戻すため、**2030年までに陸域の30%以上と海域の30%以上を保全・保護**を目指す世界目標のことです。

国立公園等のように、法令で自然が守られている保護地域を拡張するだけでなく、保護地域以外の場所で自然が守られている地域を、環境省が「自然共生サイト」※として認定し、保全するものです。

市内には、播磨中部丘陵県立自然公園や一級河川加古川をはじめとした、豊かな自然環境が多く存在しています。これらを次代に守り育ていくため、「生物多様性かこがわ戦略」の推進目標の一つに「自然や生きものを守り育む」を掲げ、様々な取組（P7 参照）を実施しています。30by30の達成に向け、引き続き、本市の自然環境保全対策を進めます。

生物多様性を守るためにできること

1. ごみのポイ捨てはやめよう！

ポイ捨てされたプラスチックやビニール類は、細かく分解されて「マイクロプラスチック」となり、海洋汚染の原因にもなります。



加古川に流れ着いたごみ

2. 環境ラベルの付いた商品を選ぼう！

FSC、MSC等の認証マーク付きの商品を買うことで、生物多様性の保全活動を支援することができます。



FSC認証



MSC認証

3. ペットは最後まで責任を持って飼おう！

ペットとして飼われていた生きものが捨てられると野生化し、在来種の生態系を破壊してしまう可能性があります。最後まで責任を持って飼いましょう。

4. 外来生物を見かけたら移動させない！

外来生物を野外で見かけた場合、生育域を広げないためにその場から移動させたり運んだりしてはいけません。もし捕まえた場合は、すみやかに元いた場所に戻すようにしましょう。



ミシシippアカミミガメ

5. 地球温暖化を防止しよう！

地球温暖化が進むと、生きものたちがくらす場所も変わってしまいます。節電・省エネなど、脱炭素なライフスタイルを目指しましょう！

本冊子で使用している写真について、各関係者の皆さまにご提供をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

加古川市の貴重な生きものたち

■ギフチョウ

里山の代表的なチョウの一種。主に落葉広葉樹からなる林に生息し、美しい姿から多くの愛好者がいます。

レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類(VU)



■ハクセンシオマネキ

甲羅の幅が2～3 cmくらいのカニで河口域の干潟に穴を掘って生息しています。オスの片方のハサミは白くて大きく、振り上げて求愛する行動が名前の由来です。

レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類(VU)

■ナゴヤダルマガエル

水田やため池、河川敷の湿地などの、周囲に草本植生が発達した場所に生息しています。その体形からダルマに例えたのが名前の由来です。

レッドリスト：絶滅危惧ⅠB類(EN)



※レッドリスト…環境省が日本の絶滅の恐れのある野生生物の種をまとめたもの。

加古川市の特定外来生物



■アライグマ

北米原産で高い繁殖力があり、生活の場を含む幅広い環境で生息しています。雑食性で農業や漁業への被害やヒトへの感染症が懸念されています。



■ナガエツルノゲイトウ

南米原産の多年草で水陸両生です。生命力が強く茎や根の断片からでも爆発的に繁殖し、地球上最悪の侵略的生物と言われています。



■ヌートリア

南米原産の小型哺乳類で、河川やため池に生息しています。水生植物の他に畑の農作物などを好み、巣穴が堤防を決壊させる恐れもあります。



■オオキンケイギク

北米原産の多年草で、黄色のコスモスに似た花を5月～7月ごろに咲かせます。繁殖力が強く、在来植物の生育場所を奪ってしまいます。



ギフチョウ

生物多様性かこがわ戦略（別冊） ＜改訂版＞

令和7年10月発行

発行：加古川市 環境部 環境政策課

〒675-8501 加古川市加古川町北在家2000
TEL (079) 427-9769 FAX (079) 422-9569
E-mail kan_seisaku@city.kakogawa.lg.jp